

## 早期発見のためのチェックリスト（別紙2）

### 1 いじめ未然防止への教師の自己チェック

【生き生きとした教師の下には、生き生きとした児童が育つ】

- 自分自身が明るく前向きに生きている。
- 教育活動にやりがいをもって取り組んでいる。

【教師の指導で児童は変わる】

- 児童とのよりよい関係づくりに努めている。
- 児童の意見（話）をじっくり聞いている。
- 児童の人間関係（力関係）を把握し、観察している。
- 不正に対して毅然とした態度で指導に臨んでいる。
- 発言等に対して冷やかしの言葉や目配せがあれば、その場で指導している。
- 小さな問題を見逃さず、その場で指導している。

【よい個の集まりがよい集団をつくり、よい集団の中に高め合う個が育つ】

- 他人の意見に耳を傾ける集団づくりに努めている。
- 集団（学級、学年、部活等）の諸問題について話し合わせ、自分たちで解決する機会を与えている。
- ルール、マナー、モラルについて考える機会を与えている。
- 安心して生活できる集団づくりに努めている。
- おかしいことがおかしいと言える集団づくりに努めている。

【仲のよい教師集団の下には、仲のよい児童集団が育つ】

- 日頃から児童（人間関係も含めて）について、気軽に情報交換している。
- 問題を一人で抱え込まず、こまめに報告・連絡・相談を行っている。
- 教師間でもよりよい人間関係づくりに努めている。

### 2 早期発見のためのチェックポイント

【学校におけるチェックポイント】

#### ①登下校

- 集団から離れて登下校している。
- 友だちのかばんなどを持たされて帰る。
- 遅刻・早退が増える。

#### ②休み時間

- 何となくそわそわして落ち着きがない。
- 忘れ物が多くなる。
- 一人だけ遅れて教室に入る。
- 席を離されている。
- 机、教科書、ノートなどが汚されていたり、落書きされていたりする。
- 用もないのに職員室や保健室に出入りすることが多い。
- ドッジボールなどで、集中してボールを当てられる。
- 遊び道具の片付けをさせられている。

#### ③授業中

- やじられたり笑われたり、みんなの笑いものにされる。
- おどおどして発表をためらい、うつむいている。
- たびたび保健室やトイレに行きたがる。
- 席替えなどで特定の子の隣や、同じ班になることを嫌がる。
- ふざけた雰囲気の中で学級委員や班長などに選ばれる。

#### ④給食時

- 配膳や片付けの仕事を押しつけられている。
- 食べ物にいたずらされている。
- いつも後片付けをさせられている。
- 当番のとき、みんなが嫌がる仕事をやらされている。

#### ⑤清掃時間

- みんなが嫌がる仕事をいつも割り当てられている。
- 一人だけ離れた場所を清掃している。
- いつも後片付けをさせられている。

### ⑥放課後

- 帰りの会（終わりの会）に配布したプリント類が、特定の子にだけ渡らない。
- 「一日の反省」で特定の子だけを追及する。  靴などが隠されていることがある。

### ⑦その他

- 急に無口になり、言葉遣いが投げやりになる。  一人でいることが多い。
- 使い走りのようなことをさせられている。  服に靴の跡がついている。
- 黒板やトイレ、廊下の壁等にあだ名や中傷が書かれている。
- 個人の掲示作品に落書きがされたり、破られたりしている。
- 委員長や班長などを辞めたいと申し出てくる。
- 日記、作文、絵画、ノートの記載などに、気にかかる表現や描写がある。
- 家の金を持ち出したり万引きをしたりする。
- 持ち物や体に触れるのを嫌がられる。
- けがの状況と本人の言う理由が一致しない。

### 【家庭・地域におけるチェックポイント】

#### ①朝（登校前）

- 朝起きてこない。布団からなかなか出てこない。
- 朝になると体の具合が悪いと言い、学校を休みたがる。
- 食欲がなくなったり、黙って食べるようになったりする。

#### ②夕方～夜（下校後～就寝）

- 友だちから電話があり、丁寧すぎる語調で対応する。
- パソコンやスマートフォン、携帯電話をいつも気にしている。
- スマートフォンや携帯電話のメール着信音におびえる。
- 親に隠れてパソコンやスマートフォン、携帯電話を見ている。
- 表情が暗く、家族との会話も少なくなる。  家の外でぼつんと一人でいる。
- 些細なことでイライラしたり、物に当たったりする。  学校や友だちの話題が減る。
- 転校したい、休みたいと言うことが増える。
- 自分の部屋に閉じこもる時間が増える。  寝つきが悪かったり、夜眠れなかったりする日が続く。

#### ③その他

- 金遣いが荒くなる。家から金品を持ち出したり、必要以上のお金をほしがったりする。
- 服が汚されていたり、破られていたりする。  理由をはっきり言わない傷やあざがある。

### 3 適切ないじめ対応のためのチェックリスト

- いじめられている児童の心情に寄り添って、いじめを認知しようとしている。
- いじめアンケート等から明らかになったいじめに関する情報を把握している。
- 自校でいじめの防止等のため行っている校内研修やOJT等の内容を日常の指導に生かしている。
- 日頃から管理職や同僚と報告・連絡・相談ができる関係を築いている。
- 児童の気になる様子を見聞きしたら、小さなことでも学年職員や管理職等に報告している。
- 少しでもいじめが疑われたら、校内いじめ対応チームに報告している。
- いじめアンケートの回答はその日のうちに確認し、他の教職員と情報共有している。
- 児童に対して、いじめは絶対に許せない行為であることを、各教科、道徳科、特別活動等を通して、計画的に指導している。
- 児童に対して、いじめなどの行為を見聞きした場合には、見て見ぬふりをせず、必ず教職員に伝えるよう指導している。
- いじめにつながるような行為を見聞きしたときは、そのとき、その場で指導している。
- いじめが疑われたら、即日対応を心がけている。
- いじめられた児童の保護者に対しては、家庭訪問等で支援している。
- いじめた児童の課題等を捉え、長期的視野をもって指導している。
- 児童や保護者に対して、授業、保護者会、学級通信などの多様な機会を活用し、いじめ防止のための取組を伝えている。